

麻酔科

岡田俊樹

2010年度は麻酔科医の大幅増員が実現し、前年度の手術枠制限から一転、枠の拡大により予定手術のみならず緊急手術についても各科の要望に十分こたえることができた。麻酔科管理手術症例数の増加は前年比で5%程度にとどまったが、日勤帯での予定手術施行率が増加し時間外延長症例が減少した。麻酔科医の増員は長年の夢であった麻酔科術前外来の開設も実現し、低リスク症例においては術前入院日数の短縮が、高リスク症例に対しては早い時期からの綿密な術前評価が可能となった。

また、日常臨床（安全快適な麻酔管理）と若手医師への教育に継続して力を注いできた成果として、2011年度も麻酔科医の数を維持することができ、拡大した手術枠および麻酔科外来とも継続予定である。

研究面では、日々の業務で遭遇した問題点を解析・検討することにより、以下の臨床研究を遂行あるいは計画中である。

1. 術後疼痛管理法の確立

- ① 硬膜外鎮痛法：特に子宮がん・前立腺がんに対する小線源治療に対して
- ② 大腿神経ブロック持続法：特に膝関節手術に対して
- ③ 静脈内投与による患者自己調節鎮痛法（ivPCA）：特に、抗凝固療法などにより、硬膜外鎮痛法が困難な症例に対して

2. 一回拍出量の呼吸性変動による輸液輸血管理の検討

3. 術前経口補液食の安全性の検討

4. HIV陽性手術患者の周術期管理

5. 重症患者・大手術の周術期管理

- ① 低心機能患者
- ② 食道癌患者
- ③ 膣頭十二指腸切除術患者など

【2010年度研究発表業績】

A-3

前田絵美、森由美子、天野栄三、赤松哲也、岡田俊樹：グリセリン浣腸による合併症が悪性高熱症との鑑別を要した1症例、麻酔 2010; 59;914-917

三賀森学、池永雅一、安井昌義、辻江正徳、宮本敦史、宮崎道彦、平尾素宏、藤谷和正、三嶋秀行、坂東裕基、岡田俊樹、辻仲利政：硬膜外カテーテル挿入後に髄膜炎を併発した直腸癌の1例、日本外科系連合学会雑誌 2010; 35(4);627-631

納富三津子、原朋子、佐々木由紀子、宮崎嘉也、足立健彦：PCPS 補助下で行った高度気管狭窄症例の麻酔経験、日本臨床麻酔学会誌、2010; 30(7);1054-1057

佐藤千明、松田智明、森由美子、島川宜子、天野栄三、人見一彰、渋谷博美、赤松哲也、岡田俊樹：高度心機能低下を伴う頸動脈狭窄症に対する頸動脈ステント留置術の周術期管理の経験、麻酔 2011; 60;211-213

B-4

佐藤千明、渋谷博美、西野実穂、前田晃彦、島川宜子、岡田俊樹：術前経口補液食摂取に伴う全身麻酔導入時の安全性についての検討、日本麻酔科学会第 57 回学術集会、福岡、2010 年 6 月

松田智明、天野栄三、西野実穂、小林恵子、森由美子、岡田俊樹：前立腺癌、子宮癌に対する高線量率組織内照射針留置後の Patient Controlled Epidural Analgesia(PCEA)による術後鎮痛法の検討、日本麻酔科学会第 57 回学術集会、福岡、2010 年 6 月

納富三津子、安田麻里子、窪田理恵、柚木圭子、佐々木由紀子、足立健彦：当院における気道狭窄 10 症例の周術期気道管理の検討、日本麻酔科学会第 57 回学術集会、福岡、2010 年 6 月

井上さつき、宇田るみ子、塩見真由美、朴英美、赤塚正文：経尿道的前立腺切除術 (TUR-P) 患者の脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔における皮膚—くも膜下腔間距離は予測可能であるか？日本麻酔科学会第 57 回学術集会、福岡、2010 年 6 月

小林恵子、井上環奈、納富三津子、牧野裕美、天野栄三、渋谷博美：硬膜外カテーテル抜去後に刺入部感染が明らかになった 2 症例、日本臨床麻酔学会第 30 回大会、徳島、2010 年 11 月

小西彩、松山博之、渋谷博美：分離肺換気を必要とした Tracheal bronchus を有する 2 症例の検討、日本臨床麻酔学会第 30 回大会、徳島、2010 年 11 月

西野実穂、佐藤千明、前田晃彦、島川宜子、岡田俊樹：胸腹部大動脈瘤手術中に小脳出血・くも膜下出血を合併した一例、日本臨床麻酔学会第 30 回大会、徳島、2010 年 11 月

B-6

西井梢、内山昭則、大田典之、後藤幸子、井口直也、高山千尋、真下節、藤野裕士：出生前診断された重症 Ebstein 奇形に対し Stames 手術変法を施行した 2 症例、第 55 回日本集中治療医学会近畿地方会、大阪、2010 年 6 月

前田晃彦、寺西理恵、朴英美、松田智明、三嶋恭子、岡田俊樹：間接声門視認型硬性喉頭鏡を用いても挿管に難渋した乳児の麻酔経験、第 56 回日本麻酔科学会関西支部学術集会、大阪、2010 年 9 月

井上環奈、谷口友佳子、津村八江、佐藤千明、森由美子、岡田俊樹：急性腹膜炎ドレナージ術後に覚醒遅延を認め、原因検索に難渋した一例、第 56 回日本麻酔科学会関西支部学術集会、大阪、2010 年 9 月